

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年9月26日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

4日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福井市	代表者名	東村 新一
担当者部署	都市戦略部	連絡先電話番号	0776-20-5671
担当者役職	主査	担当者氏名	森瀬 友佳里
		連絡先E-mail	
住所	910-8511 福井県福井市大手3丁目10番1号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	家中 賢作
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体職員目線でこれまでの経験を踏まえて人員や実施体制、予算の確保等について具体的にご助言いただいた。また、個人情報保護分野にも精通されており、データ活用を推進する上では、個人情報保護制度について職員が正しく理解する必要があるとのこと指摘を受けた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (応募依頼より)	支援内容 (応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年9月26日	支援・助言	有	令和4年9月14日	273
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和4年9月22日	支援・助言	9時00分	11時05分	0
				活動時間 (分)	125

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	情報統計課職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	平成28年度より統計分析研修 (アンケート設計やGIS、EBPM等のテーマ) を開催しているが、市の課題解決においてデータを活用する組織風土は未熟だと感じている。また、職員の各階層ごとの目指すレベルを整理できていないため研修の設計に苦慮している。 DX推進の根幹・土台整備としてのデータ活用およびEBPMの必要性を理解し、能動的に課題解決に取り組める組織風土の醸成が必要となっている。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	今後の市内におけるEBPMおよびデータ活用推進について、方向性や着実に推進していくための実施体制等について、つくば市での実践を踏まえた助言を受けることで次年度以降の取組の素案を作成する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	次年度以降のEBPMおよびデータ活用推進体制の構築と取組について、福井市のこれまでの取組を説明した上で、現時点で担当者が持つ疑問点について助言をいただいた。具体的内容は次のとおり。 1 人員・体制について 2 階層別研修について 3 庁内保有データ一覧の作成・公表について	
支援を受け改善又は解決された内容	自治体職員目線でこれまでの経験を踏まえて人員や実施体制、予算の確保等について具体的にご助言いただくことができた	

